



つむぎたい
一人ひとりの
くらしの物語



社会福祉法人
西宮市社会福祉協議会

RECRUITING BOOK

西宮市社協の めざすもの

西宮市社会福祉協議会(以下、西宮市社協)は、地域福祉を推進する団体として1951年に設立されました。

「みんなで創り出す“共生のまちづくり”」の理念のもと、地域住民やさまざまな団体・機関、行政と協働し、西宮で暮らす全ての人々が社会から孤立することなく、「役割」と「居場所」のある地域づくりを目指しています。

「安心して暮らせるまちにしたい」「困った時にサポートしてほしい」「人の役に立ちたい」「生きがいを見つけたい」…西宮市社協では住民のそんな思いに寄り添い、一人ひとりが豊かな人生の主人公となれるよう取り組んでいます。

社会福祉協議会は、2000年に改正された社会福祉法「第10章地域福祉の推進」の第109条に基づいた「地域福祉の推進を図ることを目的とする」団体で、市区町村、都道府県・指定都市、全国を結ぶ公共性と自主性を有する民間組織です。

西宮市社協の取組み

西宮市社協では、地域での福祉活動を支援する部署(地域支援部門)のほか、障害等の分野に応じた活動を行う部署(事業部門)、さまざまな困りごとの相談を受けたり、暮らしの支援をする部署(相談支援部門)やそれらを支える部署(管理部門)などがあります。

その4部門のもと8課(地域福祉課、共生のまちづくり課、総合福祉センター事業課、リハビリセンター事業課、青葉園事業課、総合相談支援課、育成センター事業課、総務課)体制で西宮市社協が目指す“共生のまちづくり”に向けて、連携・協働しながら業務を遂行しています。

1 地域支援部門

- 地域福祉活動の推進
- 福祉学習の普及・推進
- ボランティアセンター
- 生活支援コーディネーター活動
- 地域のつどい場推進
- 当事者活動支援

地域での居場所づくりやネットワークづくりを進めています。住民の思いに寄り添いながら地域が盛り上がり、上がっていく過程に関われることはとてもワクワクします!

共生のまちづくり課
高井 茜里 [総合職]



2 事業部門

- 地域活動センター青葉園
- 地域活動センターふれぼの
- 障害者居宅介護・重度訪問介護事業
- 総合福祉センター
- 障害者スポーツ推進事業
- リハビリセンター

センター内での業務に加え、地域の学校等で障害者スポーツを通じた福祉学習を担当しています。その中で「多様性」を伝えられた時がやりがいを感じる瞬間です!

総合福祉センター事業課
渡 郁三 [総合職]



3 相談支援部門

- 障害者総合相談支援センター
- 障害者就労生活支援センター
- 生活困窮者自立相談支援事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 日常生活自立支援事業

障害者就労生活支援センターの業務を通し、障害のある人が社会でもっと活躍できる可能性があることを知りました。今後も働くことを通して障害のある人の暮らしをサポートしていきたいです!

総合相談支援課
税所 絵梨子 [支援専門職]



4 管理部門

- 法人運営・企画調整
- 人事労務管理
- 予算執行管理
- 広報活動
- 留守家庭児童育成センターの管理運営

電話対応や育成センターの予算執行・管理などの事務を主にするほか、毎月センターを巡回しています。職場の人と連携して仕事が円滑にできると、充実感があります!

育成センター事業課
吉村 奈々 [総合職]



さまざまな住民の生活の場である

地域を支援する

地区社協の活動をサポート

地域支援担当として、地区社協の活動に関わっています。地区社協とは概ね小学校区を単位にした地域福祉を進める組織で、住民が高齢者や親子の交流の場の運営、敬老行事の開催など、さまざまな取り組みをされています。私はその活動や会議に参加して、こうした住民同士の支え合い活動と一緒に考えサポートしています。

地域支援担当になった頃は、どのように

関わっていけばいいのか悩み、会議でも言えないことが続きました。そんな時、「いつも一緒に悩みながら支えてくれて助かっているよ」と地域の活動者の方からかけていただいた言葉は大きな励みになりました。

現実を見つめる 大切さを痛感

西宮市社協に入職したのは、さまざまな人の生活課題に関われる地域支援に取り組みたかったからです。

学生時代は、「こんな風に地域住民がつながればいいな」と理想を持っていました。でも、理想と現実の違いは、地域で多くの人たちが懸命に活動されていることを知ってからは、大きな目標を掲げるだけでなく、目の前の課題解決も重要だと実感しました。今は、状況に合わせて支援する大切さを感じているところです。

頼られる存在になりたい

地区社協が活発に活動する一方で、支

援を必要としながらも、いまだに相談の窓口までつながらない人は少なくありません。地域にそうした人がいた場合、どのような支援制度があるのかをお話したり、相談の窓口につなぐことも私の役割です。以前、若いシングルマザーが生活に困っていると地域の活動者の方から相談を受け、生活困窮者支援の窓口に取り次ぐことができました。

これからも地域の方々と積極的に関わり、困りごとがあれば、すぐに相談してもらえたい存在になりたいと思います。

この仕事、こんな面も…

「地域で何かしたい」と思う人達が集うワークショップを開催しました。そこから話し合いを重ね、思いが重なり合うことで“つどい場”が生まれました。そんな風に地域が動いていく過程に関わることができるのがこの仕事の魅力だと思います！



中川 俊亮 [総合職/共生のまちづくり課]

これから就職する方への メッセージ

さまざまな分野の福祉に関わることができ、人との交流を通して多くを学べます。人と話すのが好きな人に向いている仕事だと思います。優しい先輩がたくさんいるのでぜひ一緒に働きましょう！

地域福祉課
永田 彩友美
2014年入職
[総合職]

8:45

出勤、就業開始

出勤したら、まずはメールをチェック。回覧資料なども確認します。

9:00

地域へ出発

地区社協会議の議題や伝達事項を確認後、会議が行われる会館へ。

10:00

地区社協会議に参加

広報部やボランティア部といった各部会からの活動内容の報告や、地域状況・主催行事についても話し合います。

13:00

事務作業

共同募金委員会の資料作成やホームページの原稿作成、地区社協会議の準備などを行います。

14:00

サロン活動に参加

子育てサロンなどの活動の様子を知るために地域へ。参加者の声も大切にしています。

17:00

事務作業

関係機関の会議に向け、意見の取りまとめや資料作成などの事務作業を行います。

オフタイム

ヨガのオンラインレッスンを受けてリフレッシュしています。友人とショッピングに出かけるのも楽しみのひとつ。地域の会議や行事が少ない時期には有給休暇をまとめて取得して、旅行を楽しんでいます。



地区社協会議が行われる公民館へ出発。地域に出るときはよく自転車を使っています。



会議後に参加者の方と話す時、会議の場では話題にならなかった情報の交換ができることも。



“本人さん”の 充実した人生をお手伝い

青葉園事業課
岸 優平
2016年入職
[支援専門職]

※青葉園では利用者のことを「本人さん」と呼んでいます。

地域と交流して 共生社会を实践

「青葉園」は、重い障害のある方々が日中通って活動をする拠点。私は支援専門員として、創作、レクリエーションと一緒に楽しみながら、本人さん*がいろいろな場面で人間関係を深めていけるようサポートしています。

本人さんが暮らす地域の公民館で、地域のボランティアさんや高齢者の方々と交流する機会を積極的に設けています。地域の

お祭りや運動会にも住民として参加して地域の方々と交流し、共生社会を実践しているのは、社協ならではのようです。

本気なら通じ合える

入職当初は戸惑うことばかりで、初めて担当した本人さんは目も合わせてくれませんでした。そんな中、心がけていたのは、自分の気持ちを込めて自分の言葉で話しかけることです。疲れていると上辺だけの声かけになりがちですが、常に本気で笑い本気でぶつかり、本気で楽し

朝と夕方は、車椅子ごと乗車できる福祉車両で、本人さんを送迎します。



さを伝えるということを根気よく続けました。その結果、徐々に受け入れてくれるようになり、今ではとても仲良くしています。

希望を叶えるために あらゆる方法を模索

青葉園に来られる本人さんは重い障害があるので、食事や散歩をすることさえも危険と隣り合わせです。医療リスクを理由に、何の活動もしなければ安全に過ごせます。でも、大切なのは、ご家族と

本人さんがどうしたいのか耳を傾け、その実現に向けてあらゆる手段を模索し、考えること。そしてそれこそ、私たちの役割だと自負しています。

音楽を楽しみたい、みんなとご飯を食べたい、VRでバンジージャンプを体験したい——。そんな本人さんの希望を、看護師さんに力を貸してもらいながら叶えてきました。これからも「障害があるからできない」ということをできる限り減らせるよう考えながら、本人さんに関わっていきたいと思います。



本人さんの様子がどうだったか、みんなが報告し合います。

この仕事、こんな面も…

本人さんの色々な表情や思いに日々出会えることが楽しく、ビビッ!と気持ちを通じた時は嬉しさもひとしおです。新しいプログラムや旅行などで本人さんがどんな表情を見せてくれるのかワクワクしています。



芦田 愛子 [支援専門職/青葉園事業課]

岸さんの ある1日

8:45

ラジオ体操、 情報共有

ラジオ体操の後、職員で一日の予定についての情報を共有します。

9:00

送迎、打ち合せ

本人さんの送迎。ご家族からの引き継ぎ事項やその日の活動内容を確認します。

11:00

日中活動

途中、昼食をはさんで、散歩や創作、レクリエーションを楽しんだり、公民館に出かけて活動を行います。

15:00

帰り支度、送迎

トイレの介助や薬の注入などの帰宅準備をしてから、本人さんを自宅まで送ります。

17:00

反省会

職員全員で、本人さんの様子や日中活動の内容などを振り返り、今後の運営に生かします。

オフタイム

5歳と2歳の子どもがいるので、休日は子どもたちと過ごすことが多いですね。ギターを弾きながら歌ったり、ゲームをしたり、駄菓子を買に行ったり…。実は、これらは全て私が好きなこと。子どもたちには、私の趣味に付き合ってもらっています(笑)。

これから就職する方への メッセージ

積極的に人と接することが好きな人に向いている仕事です。経験がなくても大丈夫。笑顔とやる気、そして元気のある人、待ってます!



青葉園事業課
阪田 博亮
2019年入職
[支援専門職]

その人らしく 生きる方法を考える

障害のある人の 生活を支援

現在、障害のある人の相談支援業務を担当しています。支援計画の作成は、重要な業務のひとつです。どの事業所のヘルパーさんに来てもらうのか、どの作業所に週何日通うのかといったことから、かかりつけ医選び、お風呂の時間まで、細かい生活プランと一緒に考えています。

その際、本人さんの普段の生活を



事務所では支援計画を作成。電話やメールで、ご家族の困りごとの相談に乗ることもあります。

知ることは大切です。作業所での様子を見たり、病院に同行して医師と話することもあれば、実際にご自宅での入浴の様子をうかがいに行くことも。とにかく1日、じっとしていることはありません。

充実しているのは 考える時間

本人さんの課題を解決するのももちろんですが、何より大切なのは、得意なことや好きなことを伸ばせるよう

な支援の提供です。本人の趣味を理解し、楽しんでくれそうなヘルパーさんを探し、「旅行がしたい」という要望があれば、その代金をどう工面するのかを考えることもあります。心がけているのは「無理やわ」と言わないこと。希望を叶える方法を考えている時が、一番充実しています。

社協の役割は、どんな障害のある人の困りごとでも引き受けることです。皆さんにそう認知してもらえよう、日々がんばっています。

これから就職する方への メッセージ

社協は大きな組織です。自分の持ち味を生かして、活躍できる部署は必ずあります。自分らしく生き生きと仕事をしたい方、一緒に社協で働きましょう！



総務課
山本 智久
2012年入職
[総合職]

組織内外のコミュニケーションの ハブとしての役割を果たす

発信意欲を 高める土壌をつくる

総務課で経理と広報を担当しています。経理の仕事では、給料の振り込みや税金の支払い手続きなどを行い、広報の仕事では、広報紙「しあわせ」の作成とホームページでの情報発信を担当しています。

各課の代表者が集まって行う広報担当者会議の進行も私の仕事。それぞれの部署が伝えたいこと、社協全

体で伝えるべきことなどを、意見交換をしながら決めるよう心がけています。こうした取り組みを続けることで、組織全体で積極的に住民に情報発信していく土壌ができつつあると、手ごたえを感じています。

見えてきたのは 組織の全体像

総務課には日々、いろいろな部署から問い合わせがあります。他部署の職員とのやり取りを通して、各課が抱



分らないことや対応に困った時は、上司に相談・報告することで乗り越えています。

える悩みや組織全体の課題が見えてきました。それらをキャッチし、コミュニケーションを通して一歩でも前に進んだ時にやりがいを感じています。

組織全体を見渡せる部署なので、「今どんな方針で法人が運営されているか」といった視点を培うとともに、さまざまな財源の活かし方をしっかり意識することも大切だと実感するようになりました。総務課で養った視点や経験を、今後の社協の仕事に生かしたいと思います。

これから就職する方への メッセージ

上司に教わりながら、多くを経験し、成長できる部署です。アイデアを形にできるのもこの部署の魅力。チャレンジ精神のある人はぜひ、来てください！

阪田さんの ある1日

8:45

出勤、予定確認

係全体の予定と、他の相談員の行動予定を共有します。

9:00

通院に同行

医療機関へ行く本人さんに同行し、ドクターに日頃の様子を伝えます。

13:00

事務作業、 関係機関やご家族に連絡

支援計画を作成し、関係機関に連絡。ご家族に電話して、本人さんの様子を確認します。

15:00

作業所を訪問

普段の様子を知るために作業所を訪問。関係者との会議も行います。

16:00

自宅を訪問

自宅を訪問して本人さんの様子を見たり、ご家族から困りごとをお聞きします。

山本さんの ある1日

8:45

メールチェック、 予定を確認

出勤後、メールをチェック。月曜日は、係内でその週のスケジュールを確認します。

9:00

事務作業

給料の振り込み、業者への振り込み手続き、税金の支払い準備などを行います。

11:00

広報紙の校正

広報紙「しあわせ」を校正します。間違いがないかを確認し、変更箇所は赤字で書き込んでいきます。

13:30

出納業務

銀行で預金を確認。業務を通してお金の流れや組織の運営状況が分かるようになりました。

16:00

広報担当者会議

毎月1回、各課の代表者と、広報紙やホームページの発信内容などについて話し合います。

西宮市社協が 力を入れていること

—— 各部署が“相乗り”しながら(織りなしながら)、
みんなで“一緒”に歩んでいます ——

各部署での日常業務は違っても、西宮市社協職員としての使命や目指していることは一緒です。
職員一丸となって取り組む災害支援活動と、みんなで創った共生のまちづくり拠点を紹介します。

災害支援活動 —“笑顔”を届ける活動



未曾有の阪神淡路大震災を経験した社協として、当時の経験を生かしながら、東日本大震災をはじめとした全国各地の地震、水害等の被災地への支援活動を行ってきました。

全課職員で結成した“みんなでみんなをすまいるプロジェクト”の活動では、職員だけでなく、市民やNPO、大学、関係団体等と一緒にボランティアバスによる被災地支援、西宮における避難者交流活動、復興支援イベントの開催などに取り組んできました。

共生のまちづくり拠点 —地域共生館ふれぼの



2016年春、子どもから高齢者、障害のある人など、誰もが集える地域拠点として“地域共生館ふれぼの”をみんなで作りました。

一人ひとりに役割がある居場所として、自分が“主人公”となれるつどい場を目指し、活動を進めています。

同じ空間で過ごすことでさまざまな物語が生まれる“場の魅力”をふれぼのから発信、市全体にも広げていくことを目指しながらみんなで活動を進めています。

職員構成・福利厚生

総合職と 支援専門職

本会の正規職員は総合職と支援専門職(2016年創設)の2職種があります。総合職は地域支援をはじめ、管理や企画運営など社協業務全般を担います。一方で、支援専門職は福祉の専門知識やスキルをもって、主に直接的に介護や相談にあたる業務を行います。

働きやすい 環境

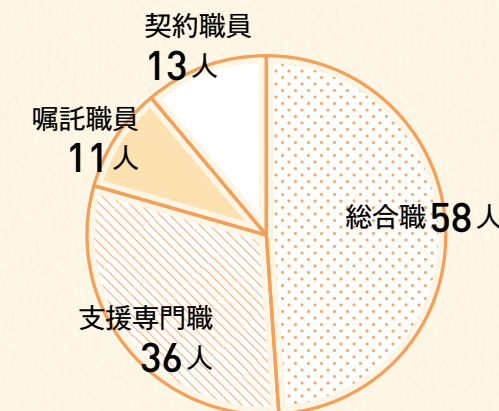
年間21日付与される年次有給休暇の他、夏季休暇や勤続年数によりリフレッシュ休暇を取得できます。出産・育児、家族の介護等でも取得できる休暇制度があり、多くの職員がワークライフバランスを実践しています。

福利厚生

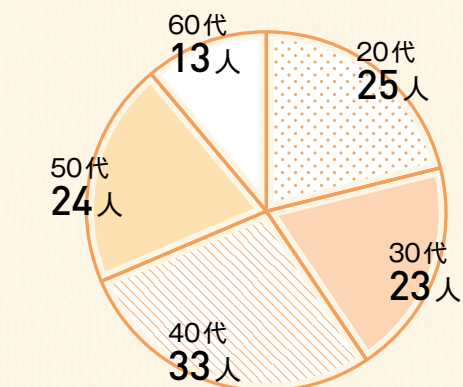
- ▶ 民間社会福祉事業職員互助会に加入
- ▶ 全国社会福祉団体職員退職積立基金に加入
- ▶ 定期健康診断・ストレスチェックを年1回実施

【職員DATA】

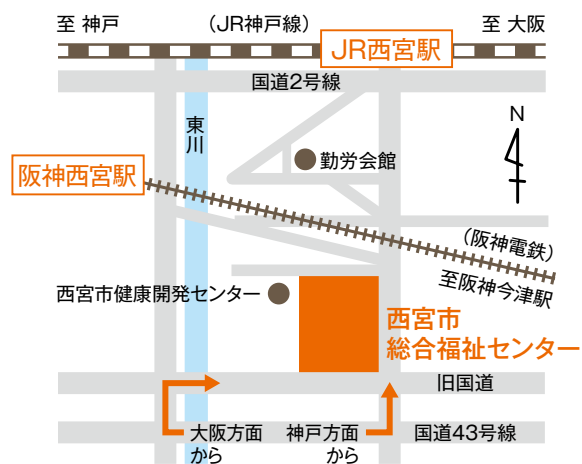
〈雇用形態〉



〈年齢構成〉



※2021年4月現在



社会福祉法人

西宮市社会福祉協議会

〒662-0913 兵庫県西宮市染殿町8-17
西宮市総合福祉センター内

TEL 0798-34-3363

FAX 0798-35-1132

<https://nishi-shakyo.jp/>

✉ saiyou@n-shakyo.jp